

- 対象地域
広島県山県郡北広島町
(西中国山地国定公園)
- 設立日: H16.11.7
- 構成員数: 32人
- 全体構想作成日: H18.3.31
- 実施計画作成日: H18.10.30
(H28. 5現在)

やわたしつげんしぜんさいせいきょうぎかい

八幡湿原自然再生協議会

再生
目標

「命の環 つなげる」をキャッチフレーズに、牧草地造成前の昭和30年代前半頃の湿原生態系を再生する。

【事務局】

730-8511
広島市中区基町10-52
広島県自然環境課
野生生物グループ内
電話: 082-513-2933



本地域は、広島県の北西部に位置し、1,000m級の山に囲まれた標高800mの盆地です。また、ヌマガヤーマアザミ群集に代表される中間湿原が点在し、自生のものとしては貴重なカキツバタが生育しています。

しかし、牧場化に伴う排水施設や道路の整備が原因と思われる湿原の乾燥化により、周辺部からアカマツやイヌツゲ等の木本類が侵入し、希少種の生育環境が悪化しています。このため、自然生態系の保全・再生のための計画を作成、湿原環境の再生に向けた取り組みを進めています。

活動報告

自然再生協議会全国会議(榎野川河口域・干潟自然再生協議会)

【報告者】広島県自然環境課 渡辺浩毅

本年度の環境省主催自然再生協議会全国大会は、榎野川河口域・干潟自然再生協議会が受入機関となり令和元年9月18日・19日の日程で山口市で開催されました。当協議会からは、中越会長、青木委員と事務局の渡辺が参加しました。

1日目は、榎野川河口域での里海再生の取組に関する報告のあと、河口域の干潟でカブトガニを探索する大変楽しい現地調査を行いました。尾剣で中央に線の入った特徴的な這い跡の先の泥の中に個体が潜んでいることを教えていただいた後、干潟のあちこちで夢中になってカブトガニを探しました。

その後、きらら浜自然観察公園に移動しました。この公園は、286ヘクタールの干拓事業地のうち、30ヘクタールを整備して2001年4月にオープンしました。かつての阿知須干拓地に生育・生息していた野鳥を中心とする多様な生態系を保全するため、園内に淡水池、ヨシ原、干潟、汽水池、樹林帯の5つの環境が整備されています。園内には日本で唯一の傷病クロツラヘラサギの保護リハビリ施設が設置されています。



榎野川河口域・干潟自然再生協議会 【自然再生の目標】

榎野川河口域から山口湾にかけて広がる干潟においては、浮泥の流入、カキ殻の堆積、干潟の硬質化・無機質化、アマモ場の激減、アサリの壊滅など、干潟生態系の改変・改質が生じている。

このため、人が適度な働きかけを継続することで、自然からのあらゆる恵みを持続的に享受できる場「里海」を再生することを再生目標とし、カキ殻の粉碎などによる底質環境の改善、科学的な分析・評価による干潟への働きかけ、再生活動が持続される体制づくりを行う。



夕方の懇親会では、各協議会から取組内容を紹介する時間が設けられ、当会からは中越会長がお話をされました。

2日目は、環境省から、今年度中の自然再生基本方針の見直しについて経過報告がされた後、分科会による議論が行われました。テーマは「協議会の立ち上げ」、「人材の育成・確保」、「資金確保」の3つで、北潟湖、神於山、中海の各協議会から、それぞれテーマに関連した話題提供が行われ、その後3グループに分かれて議論を行いました。当会は「資金確保」の分科会への所属でしたが、手分けをして「人材の確保・育成」にも参加させていただきました。